

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

株式会社ユニコーン
大阪市中央区大手通 1-1-2
TEL.06-6943-4560 FAX.06-6920-5311

いつも大変お世話になりありがとうございます。

街のあちこちがクリスマスモードで煌めく今日この頃、今年もあつという間の一年でした。
皆さまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

お正月の混雑を避けようと、一足先に帰省を兼ねて高松へいってきました。香川県はいつも通り過ぎてしまうので、観光するのは初めてです。讃岐うどん巡り、金比羅山、小豆島、栗林公園など名所は色々ありますが、今回の本命は、ネットでたまたま見つけた四国村ミウゼアムの「かわいい建物」でした。

まずは帰省の為、いつも通り新幹線で福山へ、そこから高速バス・島内バスと乗り継いで愛媛の実家へ帰りました。父とのお喋りタイムを楽しんで、いつもなら来た道に戻るのですが、今回はバスを乗り継ぎ今治駅へ。さらに特急電車に揺られて高松駅へ着いたのは20時頃。翌朝、ローカル鉄道「ことでん」で、源平合戦でお馴染みの屋島へ到着しました。GoogleMAPを頼りに歩いていると、屋島神社の鳥居と境内までの長い階段が目飛び込んできて、鳥居の脇に「四国村」を発見しました。今回、神社は眼中になかったので、階段を上るかどうか迷ったのですが、折角の機会なので参拝することにしました。いつもなら少し階段を上ると息切れするのに、なぜだか不思議なくらいラクラク上がれました。振り返ると最高の見晴らし！見下ろす高松の街も、見上げる屋島の頂上もとてもきれいでした。

階段を下りて、次は四国村ミウゼウムへ。愛媛出身の私も知らなかった四国村の開村は1976年、なんと40年以上の歴史があるそうです。昨年リニューアルしたオシャレなチケット売り場で、料金1600円を「ちょっと高い」と思いながら支払いました。敷地内には、四国各県から移された古い民家や倉庫などの建築物が、里山を巡るように点々と建てられていました。安藤忠雄氏設計の美術館と水景庭園や、流政之氏設計の石と水と滝の庭園もとても現代的でありながら、山の木々や古い建物に違和感なく溶け込むよう、絶妙に配置されていました。

建物はただ古いだけでなく、そこに住んだり働いたりした人々の思い出も一緒に移してきたかのような存在感で、観光施設というよりは、どこかの村の里山の小道を散歩しているようで、昭和の田舎育ちの私は郷愁をくすぐられました。一番のお目当てだった「かわいい建物」は「砂糖しめ小屋」といって、サトウキビをしぼるときに使われた小屋だったそうです。取り壊されることなく移築されたからこそ出会えた建物や風景 — この場所を作るために尽力された方々に、感謝の気持ちで胸が暖かくなりました。

お客様が少ないからこそ、静かで良いのかもしれませんが、もっと知名度が上がり、多くの人に見ていただいて、この素敵なお場所をずっと後世に残してもらいたいです。1600円、ぜんぜん高くなかったです！

屋島神社から四国村と、屋島の里山を2時間以上も歩いたのに、ぜんぜん疲れませんでした。私にとって、屋島はパワースポットなのだと思います！

2023年も残りわずかとなりました。本年も皆さまにはたいへんお世話になりました。おかげさまで、インボイス対応をはじめ、沢山のお仕事をさせていただき、社員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

年末年始も変わらずお忙しいかと存じますが、お身体をお大事に、どうぞ健やかに過ごしてくださいませ。

2024年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



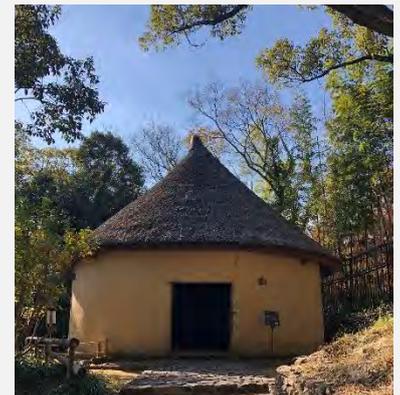
屋島神社

これを上り切ったら境内です！



祖谷のかずら橋の再現

怖くて渡れませんでした。



砂糖しめ小屋と小屋組み



今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしくお願いいたします。